

平成 30 年度 施策評価表

施策	1304 畜産業の振興	施策担当部等	産業振興部	部長	高取 和也
		施策担当課等	農林水産振興課	課長	下玉利 輝幸
施策の方針	優良畜産物の安定生産を図るとともに、家畜伝染病の発生防止や早期発見のための取組により畜産環境の向上に努める。また、公共牧場の有効利用を推進する。				

【DO（実施）】  
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 畜産物の年間産出額	千万円	174	175 257	175 255	180	180	180	145.7%	141.7%
② 公共牧場の1日当たりの平均収容頭数	頭	78	74 74	75 78	80	85	78	104.0%	100.0%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①畜産物の年間産出額は、子牛や肉豚の市場相場価格が上昇したものの、鶏肉生産者の廃業（1戸）や肉用牛枝肉相場価格の低下などにより、前年度から2千万減少した。しかしながら目標値は大きく上回った。  
②公共牧場の1日当たりの平均収容頭数は、前年度と比較すると乳用牛預託頭数は10頭減少したものの、肉用牛預託頭数が14頭増加したことより、目標値を上回った。

施策経費

(単位:千円)		H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
内訳	事業費	54,715	138,416	38,869	
	国庫支出金	0	2,645	1,800	
	県支出金	11,561	83,889	190	
	地方債	0	0	0	
	その他	9,964	4,325	4,350	
	一般財源	33,190	47,557	32,529	
	人件費	14,592	9,257	-	
フルコスト	69,307	147,673	-		

施策の概要

130401	優良畜産物の安定生産	優良畜産物を安定的に生産するため、優良素畜の導入を計画的に行うとともに、繁殖技術や飼養技術の向上を図ります。 また、関係機関と連携して、知名度向上や販路拡大に取り組みます。
130402	防疫体制の強化	口蹄疫など家畜伝染病の発生防止や早期発見のため、自衛防疫の啓発に努めます。 また、獣医師による農家への定期的な巡回などにより、家畜伝染病に関する迅速かつ適切な情報伝達を行うことで、防疫体制の強化を図ります。
130403	公共牧場の有効利用	畜産農家の経営力の向上を図るため、公共牧場を有効活用し、農家の労力の軽減や優良な乳用牛・肉用牛の育成に取り組みます。

**【CHECK (評価) 施策担当部長】**

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>優良畜産物の安定生産については、肉用牛では子牛価格、肉用牛枝肉価格とも上昇しているものの、飼料価格の高騰や生産者の減少により出荷頭数は減少してきており、出荷頭数の確保が必要である。また、畜産農家の世代交代に関して、後継者が安心して畜産経営を継承できるような環境づくりのため、法人化に向けた取組も必要である。</p> <p>防疫体制の強化については、近年、韓国や中国などの近隣諸国において口蹄疫や鳥インフルエンザ等が発生していることを踏まえ、県や関係団体と連携し防疫対策に取り組んでいくこととしている。</p> <p>公共牧場の有効利用については、牧場施設の老朽化による補修及び設備更新の要望が利用者や指定管理者から出されており、優良な乳用牛・肉用牛の育成のためには計画的に実施する必要がある。</p>
-------------------------	---

**【CHECK (評価) 評価調整委員会】**

<p>(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)</p>	
-------------------------------	--

**【ACTION (改善・改革)】**

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>優良畜産物の安定生産については、にこにこ畜産経営事業や大村生まれ長崎和牛づくり事業等の実施により、優良素牛の導入のほか、出荷頭数の確保に向け継続して取り組む。</p> <p>法人化に向けた取組については、法人化の予定がある生産者の意向をJAや県等と情報共有を図りながら進めていく。</p> <p>防疫体制の強化については、鶏病対策として、にこにこ畜産経営事業による取組のほか、他の畜産物も含め、今後も継続して県や関係団体と連携し防疫対策に取り組む。</p> <p>公共牧場の有効利用については、肉用牛の預託頭数が年々増加してきている中、経年劣化により補修が必要な牧柵や利用器具等の計画的な補修を行う。加えて、預託頭数の増加と暑熱対策を加味した牛舎を増築するとともに、あわせてICT技術を活用した省力化と効率化に向けた整備を県やJA及び利用者団体等と協議しながら取り組む。</p>
---	--

**平成31年度新規事業**

事業名 (仮称)	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	